

課 題

世界保健機構の調査によると日本の平均寿命は 84.2 歳で世界第 1 位、心身ともに自立し、健康的に生活できる期間を示す健康寿命は 74.8 歳で世界第 2 位となっている。

このような長寿社会、いわゆる「人生 100 年時代」の到来に加え、定年の延長、非正規雇用の増加、女性の社会進出、外国人人材の活躍など、働き方や労働者の多様化が進む社会において、人生の長い期間をより充実したものにするためには、従来の「教育」→「仕事」→「退職後」の 3 ステージの人生モデルから、社会に出た後も、何歳になっても学び直し、職場復帰や転職を行うマルチステージの人生モデルに変わっていく必要があり、そのためのリカレント教育*が重要になっている。

しかし、日本におけるリカレント教育の普及はまだまだ不十分であり、従業員、企業、国内の大学・大学院・短期大学・高等専門学校（以下、「大学等」という。）がそれぞれ課題を抱えているのが現状である。（資料参照）

こうした中、京都府においては、WITH・POST コロナ社会で必要とされる能力の変化や人生 100 年時代の到来を見据え、生涯学び・働き続けることのできる社会の実現に向けた総合的な支援拠点として「生涯現役クリエイティブセンター」を開設し、主に大企業・中堅企業の在職中のミドル・シニア層を対象に、社会人向けリカレント教育の実施や、リカレント教育情報の一元化と発信などを行うこととしている。

※ リカレント教育：スウェーデンの経済学者ゴスタ・レーンが提唱。義務教育や基礎教育の修了後、生涯にわたって教育と他の諸活動（労働・余暇など）を交互に行う教育システム。

問 1 上記の現状を踏まえ、リカレント教育を推進するにあたっての課題としてあなたが考えることを、400 字以内で簡潔に記述しなさい。

問 2 問 1 の記述を踏まえ、リカレント教育を推進するために、京都府が実施すべきとあなたが考える事業を、その事業を実施する上での課題とその解決策、期待される事業効果とともに 600 字以内で簡潔に記述しなさい。

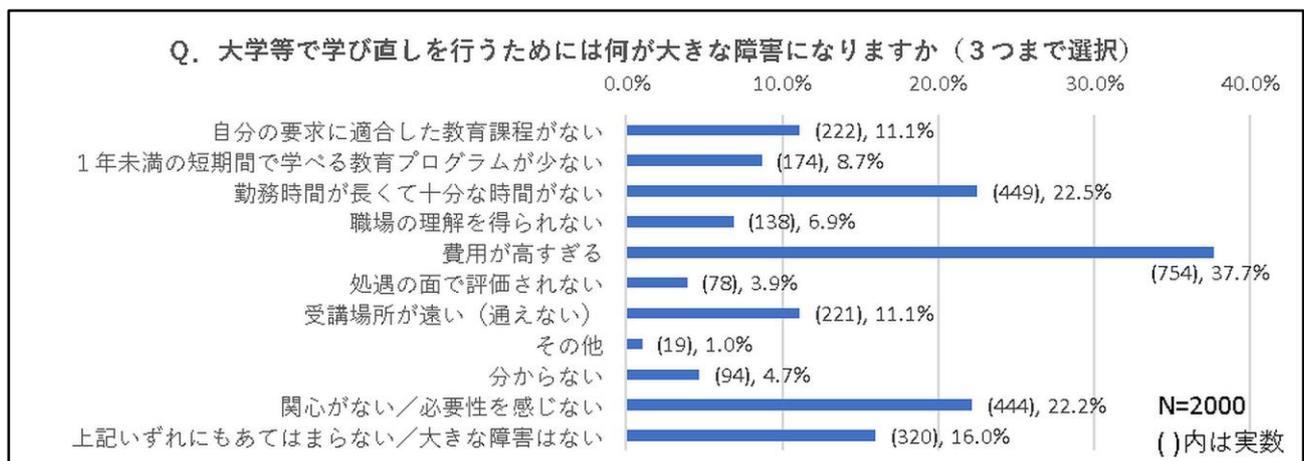
(注) 書き出しの一字下げや改行によって生じた空白やマス目も字数に含める。

資料. 「社会人の大学等における学び直しの実態把握に関するアンケート調査」の調査結果

1. 「学び直しを行っていない社会人」に対するアンケートの結果

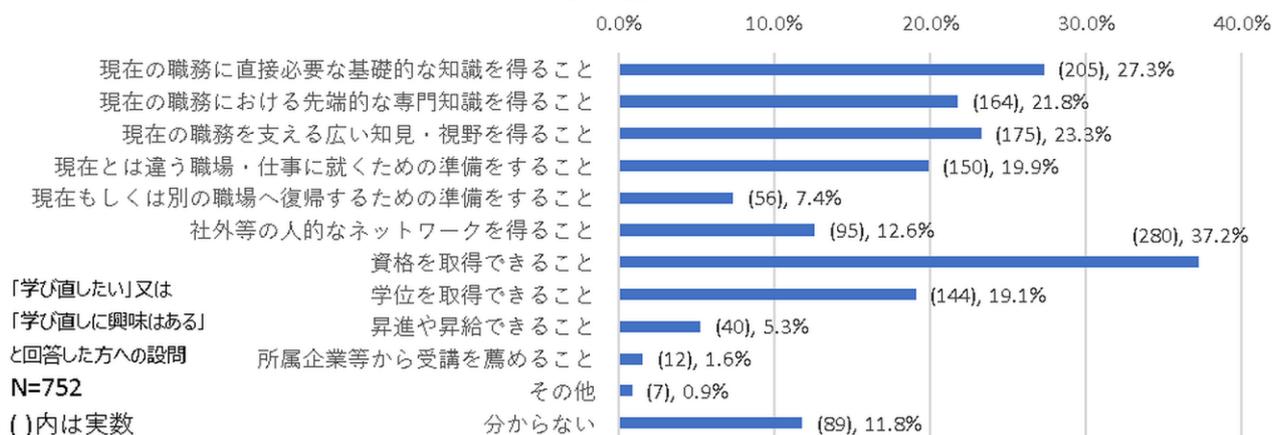
Q. 職業に必要な知識や能力等を得るため、大学等で学び直したいと思いませんか

学び直したい：7.8% 学び直しに興味はある：29.8% 学び直したいと思わない：62.4%



Q. 大学等で社会人として学び直しを行う場合、何が重要な目的とお考えですか

(3つまで選択)



2. 「企業等」に対するアンケートの結果

Q. 従業員等が大学等で学ぶことを認めていますか

認めている：20.7% 認めていない：11.1% 特に定めていない：67.8% 無回答：0.4%

Q. 従業員等が大学等で学ぶことを認めていない理由は次のうちどれですか (3つまで選択)



3. 「大学等」に対するアンケートの結果

Q. 主に社会人を対象としたプログラムを提供していますか

提供している：25.5% 今後提供する予定：10.6% 今後も提供の予定はない：63.7% 無回答：0.2%

Q. どのような条件が整えば主に社会人を対象としたプログラムを提供しようと思いますか

(3つまで選択)



※ N：合計回答数

(出典：「社会人の大学等における学び直しの実態把握に関する調査研究報告書」（平成27年度文部科学省調査研究）